

# ワクチン接種の推進について

令和3年5月

感染症対策課ワクチン接種推進チーム

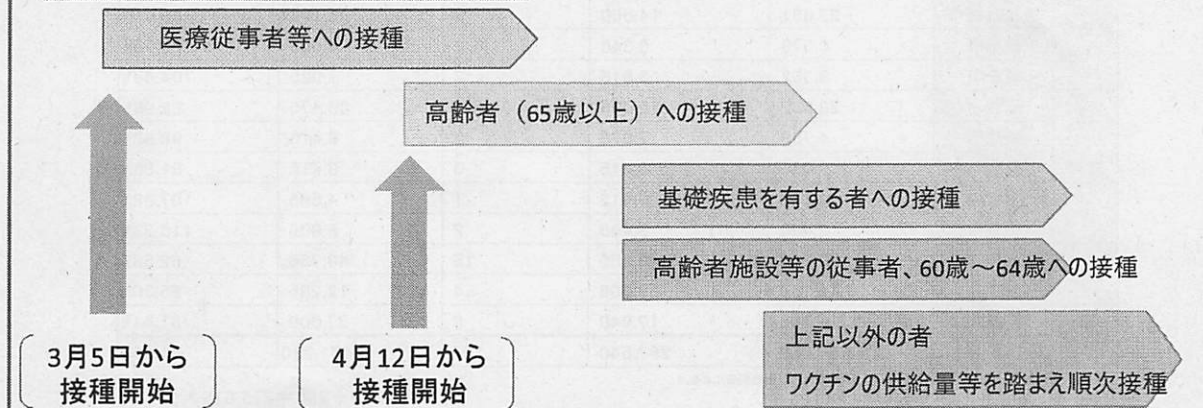
1

## ワクチンの接種体制

### 接種体制の基本設計

- 国の指示のもと、県の協力により、市町において予防接種を実施
- 原則、居住地の市町村で実施
- 接種会場は、医療機関や市町村設置会場等

### 接種順位



2

# 医療従事者等へのワクチン接種

## 1 医療従事者等の接種予定者

接種予定者数 45,514人

※医療従事者等に対するワクチン接種に関する調査 1月8日～3月2日

## 2 医療従事者等への接種実績

接種済人数

(5月17日 8:30現在V-SYS反映分)

1回目:38,598人(84.8%)

2回目:18,154人(39.9%)

【目標】

4月末 約13,500人(30%)

(実績:13,070人)

5月末 約36,000人(80%)

6月中旬 接種完了

3

# 住民へのワクチン接種

## 1 高齢者(65歳以上)のワクチン配布スケジュール

市町への配分数(5/24の週および5/31の週)

	市町	65歳以上(人)	4/5の週～5/17の週 配分済接種回数	5/24の週+ 5/31の週箱数	接種回数 累計	配分後の 高齢者配分比率
大津	大津市	91,670	37,245	38	81,705	44.56%
	草津市	30,450	19,695	16	38,415	63.08%
湖南	守山市	18,425	20,280	10	31,980	86.78%
	栗東市	13,147	12,285	4	16,965	64.52%
	野洲市	13,127	6,435	5	12,285	46.79%
甲賀	甲賀市	25,132	23,650	7	31,840	63.35%
	湖南市	13,486	10,670	6	17,690	65.59%
東近江	東近江市	30,527	25,545	11	38,415	62.92%
	近江八幡市	22,691	14,660	9	25,190	55.51%
	日野町	6,379	8,345	2	10,685	83.75%
	竜王町	3,362	3,515	3	7,025	104.48%
湖東	彦根市	28,582	19,095	14	35,475	62.06%
	愛荘町	4,759	7,075	2	9,415	98.92%
	豊郷町	2,086	3,415	0	3,415	81.86%
	甲良町	2,135	3,415	1	4,585	107.38%
	多賀町	2,495	3,465	2	5,805	116.33%
湖北	長浜市	32,560	23,205	15	40,755	62.58%
	米原市	11,107	7,605	4	12,285	55.30%
高島	高島市	16,768	17,940	8	27,300	81.41%
	合計	368,888	267,540	157	451,230	61.16%

※人口(令和3年1月1日時点人口動態調査による。)

↓  
451,230÷2回=225,615人分

4

# 住民へのワクチン接種

## 2 市町のワクチン接種開始日等

市町	接種券発送日	対象	接種開始日
大津市	3月29日	85歳以上	4月12日
草津市	3月31日	65歳以上	4月25日
守山市	4月9日	65歳以上	4月18日
粟東市	4月9日	65歳以上	4月25日
野洲市	3月31日	65歳以上	5月10日
甲賀市	4月20日	高齢者施設の入所者	4月19日の週
		65歳以上	5月12日
湖南市	4月27日(85歳～)／5月上旬(80歳～) 5月中旬(70歳～)／5月下旬(65歳～)	高齢者施設の入所者	4月26日の週
		65歳以上	5月12日
東近江市	3月30日	高齢者施設の入所者	4月20日
近江八幡市	3月31日	65歳以上	5月10日
		(沖島)16歳以上	4月24日
日野町	4月26日以降	(その他)65歳以上	5月10日
		高齢者施設の入所者	4月17日
竜王町	4月19日	65歳以上	5月中旬
		高齢者施設の入所者	4月19日
彦根市	4月5日	65歳以上	5月10日
		高齢者施設の入所者	4月19日
愛荘町	4月19日	65歳以上	5月24日
		高齢者施設の入所者	4月26日の週
豊郷町	4月26日以降	65歳以上	5月10日
甲良町	4月16日	65歳以上	5月下旬
多賀町	4月15日	65歳以上	5月6日
長浜市	3月29日	65歳以上	5月14日
		高齢者施設の入所者	4月下旬
米原市	3月29日	75歳以上	4月下旬
		65～74歳	5月下旬
高島市	4月下旬(75歳～)／5月中旬(65歳～) 6月以降(その他の方)	高齢者施設の入所者	6月下旬
		65歳以上	4月26日
		65歳以上	5月15日
		65歳以上	4月下旬以降
		65歳以上	5月以降

5

# 住民へのワクチン接種

## 3 今後の高齢者向けのワクチンの配送スケジュール

○4月30日 厚生労働省より、「基本配分計画」(県・市町へ最低限分配できるワクチンの量と時期)が示されたところ。

### 基本配分計画(滋賀県)

高齢者人口 (人)	高齢者の 接種回数 (回) ※2回接種分
368,888	737,776

	第1～5クール (4/5の週～ 5/17の週) ※配分済	第6クール (5/24の週～ 5/31の週)	第7クール (6/7の週～ 6/14の週)	第8クール (6/21の週～ 6/28の週)	合計
ワクチン量(回)	267,540	149,760	164,970	162,630	744,900
箱数(箱)	243	128	141	139	651

157箱の配分となった

※第5クール以降、1バイアルから6回接種となる

6

# 高齢者向けワクチン接種の促進

## 県の方針

市町の接種体制の支援を強化し、県民への迅速かつ着実なワクチン接種を進める。

○ 7月末に希望する高齢者に2回の接種を終えることができるよう、国からワクチン供給量の見通しや、時間外・休日の接種費用の上乗せ等についても示されたところであり、県としても市町の課題に応じた丁寧な支援を行っていく。

## 県の取組

### 1 市町長との意見交換会(Web)の開催(5月12日)

各市町から高齢者接種促進に向けての課題を具体的にお聞きしたところ。

国へ要望すべき事項、県で対応できる事項について整理していく。(スライド8, 9参照)

### 2 県看護協会との協働(ワクチン接種サポートナースプロジェクト)

看護職の皆様にも、より一層ワクチン接種に協力していただけるよう、県と看護協会が共に働きかけていく。(スライド10参照)

協力体制をより一層強化し、将来を見据えた多角的な看護職確保・養成等につながるよう、発展的な取組を進める。

7

# 高齢者向けワクチン接種の促進

## 1 市町長との意見交換会(5/12)での課題・要望等

医療従事者確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<u>県・国からも医師会に働きかけ等、行ってほしい。</u>診療所だけでなく、病院での個別接種に向けて話をしてほしい。</li> <li>・地域の診療所に対して、<u>県医師会からもしっかりと情報をお伝えいただきたい。</u></li> <li>・<u>国立や県立病院の看護師など、貴重な医療資源が接種にかかわってもらっていない。</u></li> <li>・医師からは、「協力はしたいが、地域医療を守る必要があるので…」との声があるため、<u>休業補償を行うことや、歯科医師が現場に出てもらえるよう、働きかけを行ってほしい。</u></li> </ul>
接種終了時期前倒し	<ul style="list-style-type: none"> <li>・既に予約を受け付けた方の、<u>接種日程を前倒しする作業が負担。</u></li> <li>・各診療所での接種人数を短期間で増やすことは、診療所の待合室など物理的な面で課題がある。</li> <li>・<u>集団接種での接種人数を増やす必要がある。</u></li> <li>・<u>高齢者への接種完了に関連して、接種率の定義が明瞭でない。接種希望者への接種完了をゴールとするのか。高齢者全体への接種完了をゴールとするのか。県や国から示してほしい。</u></li> </ul>

————— は県・国への要望事項

8

## 高齢者向けワクチン接種の促進

### 1 市町長との意見交換会(5/12)での課題・要望等

接種体制	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護施設や、会場に来られない方への接種も進めていく必要がある。</li> <li>・病院や介護施設にいる、接種を希望するが動けない高齢者に対してどうやって接種を行うのか</li> <li>・会場に行けない高齢者への接種を行うことが課題。往診をしている所もあると思うが、こうした声なき声を拾ってもらえるようサポートしてほしい。</li> <li>・企業で働く職員への接種を進めやすいよう取り組みを行ってほしい。</li> <li>・企業、事業所での接種についても、検討を進めてほしい。全体的なスピードアップになると考える。</li> </ul>
職員体制	<ul style="list-style-type: none"> <li>・住民サービスを継続しながら接種を進めることについて、マンパワーが不足。</li> <li>・勤務体制について、職員が手一杯。</li> </ul>
大規模接種会場	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国や県で大規模接種会場を設置してほしい。</li> <li>・大規模接種会場の設置について、65歳以上の方については不要と考える。(市民に混乱が生じる。職員の士気が下がる。)</li> <li>・予約についても、重複予約があってはならないので、それを避ける取り組みを検討してほしい。</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これからは台風、大雨の時期になる。接種会場は避難所にもなっているので、通常とは異なる対応が求められるが、市としては接種促進に集中したいと思っている。災害時には県の保有する施設の開放や人的支援も含め、検討してほしい。</li> </ul>

9

## 高齢者向けワクチン接種の促進

### 2 ワクチン接種サポートナースプロジェクト

看護職の皆様、より一層ワクチン接種に協力していただけるよう、県と看護協会が共に働きかけていく。

- ①ワクチン接種に協力いただける「看護職の確保」(掘りおこし・働きかけ)
- ↓
- ②ワクチン接種のための「事前研修等によるサポート」
- ↓
- ③看護職が不足する「市町とのマッチング支援」

・5月12日 知事と公益財団法人滋賀県看護協会会長とのキックオフ会見を実施。

・5月14日 16時現在 応募人数:110人

10

## これまでの課題への対応について

### 1 ワクチンの供給遅れによる影響(4/25常任委員会報告事項)

国からのワクチン供給の遅れにより、医療従事者のワクチン接種と高齢者のワクチン接種の時期が重なることとなった。

一部の高齢者接種を行う医療従事者については、自身がワクチン接種をしていない段階で高齢者にワクチン接種をしなければならない事態が生じた。

そのため、集団接種に出動するはずだった医師や看護師が未接種のため、取りやめという事態が生じている。

(県の対応)

現在、一番早く医療従事者へワクチン接種する方法は、高齢者向けワクチンを使用することであるため、市町において対応・検討をお願いしている。

この方法が難しい場合は、県へ、ワクチン接種を希望する医療従事者の必要な人数を報告いただくことで、できる限り医療従事者の枠の中で調整を行っている。

11

## これまでの課題への対応について

### 2 市町のワクチン接種体制の構築関係の課題、要望等(4/25常任委員会報告事項)

#### 関係団体

【課題等】 集団接種にかかる医師、看護師、薬剤師等の確保が難しい。

(県の対応) 県看護協会と協働し、看護職への働きかけとマッチング等に取り組む。

【課題等】 個別接種をしていただく病院、診療所の確保が難しい。

入院やかかりつけ患者は、個別接種(かかりつけ医)で対応できるようにしてほしい。

(県の対応) 関係団体に協力を依頼する。

#### 国

【課題等】 ワクチンの配送スケジュールが不透明な状況のため、会場の確保など計画が策定できない。

(県の対応) ワクチンの供給量・時期など可及的速やかに示すよう全国知事会等を通して国に要望。

【課題等】 ワクチンの接種順位を地域の実情に応じて弾力的に対応できるようにしてほしい。

・高齢者等の送迎者、柔道整復師、エッセンシャルワーカー等。

(県の対応) 地域の実情に応じて対応できるよう全国知事会等を通して国に要望。

【課題等】 ワクチン関係のシステムの支障について

(県の対応) システムの使用により運用が制限されることの無いよう全国知事会等を通して国に要望。

12

# これまでの課題への対応について

## 2 市町のワクチン接種体制の構築関係の課題、要望等 (4/25 常任委員会報告事項)

### 県

#### 【課題等】 健康被害調査委員会設置の支援について

「ワクチン接種による健康被害については、市町は健康被害調査委員会を設置することとされているが、調査委員会を立ち上げて運営していく負担は大きい。各市町において発生することが予想されることから、県に当該業務の中心的な役割を担っていただき、専門的、広域的な役割を發揮してもらいたい」

(県の対応) 広域で実施することも含め、弾力化を図るよう全国知事会を通して国に要望。

#### 【課題等】 幅広く広報をしてほしい。

「ワクチンは遅れても必ず来るので安心してほしい・副反応に対する対応  
・外国人への情報発信」

(県の対応) 市町の意見を聞きながら、広報活動をしていく。(スライド14、15参照)

#### 【課題等】 市町への情報提供、ばらつきが生じないよう後方支援を願いたい。

(県の対応) ・定期的に市町の状況を確認し、情報共有を図っている。

・情報交換会(2月3日、3月30日、5月18日)を開催し、課題解決に向けた情報共有を図っている。

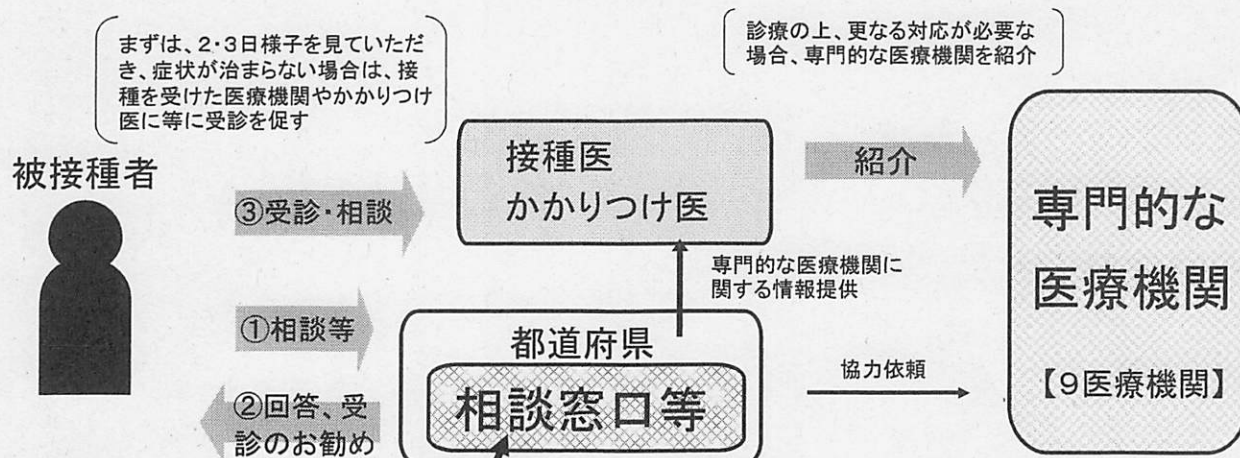
・保健医療圏ごとに県職員の担当者を置き、密に連絡を取れる体制を構築。

・市町の進捗状況に応じ個別に市町を訪問。

13

# ワクチン接種後の副反応の対応について

## 専門的相談体制の確保



### 滋賀県新型コロナウイルスワクチン専門相談窓口 (コールセンター)

開設日 3月1日～

受付時間 毎日 9:00～17:00 → 4月12日～ 24時間 (土日、祝日含む)

受付内容 副反応などに関する医学的見地が必要な専門的な内容

相談体制 5名(看護師4名、薬剤師1名)

※5月下旬には外国人向け多言語にも対応予定

14

# 県広報の取組

県民に安心してワクチン接種してもらえるよう「接種にあたっての注意事項」「副反応が発生した場合の対応」などの内容に関し、様々な媒体を用いて広報を実施。

	時期	内容
テレビCM	5月1日から放送開始	・高齢者へのお知らせ (2回接種と接種時の持ち物) ・副反応への対応
新聞折込み	5月10日実施	・安心して受けていただくために (基本事項、注意事項、副反応への対応)
ポスター (接種前)	5月10日以降随時掲載 ※医療機関、県内企業、19市町等に配布 ※市町にはデータでも配布済	・安心して受けていただくために (要予約、接種時の持ち物、感染対策等)
ポスター (副反応)	市町にデータで配布済 (接種会場で配布・掲示等に活用、外国人向けも準備中)	・体調に変化があった場合の対応 (接種後の症状、発生時の対応等)
店内放送	5月1日以降 先方の準備が整い次第 (イオン、平和堂)	1 副反応の症状、発生した場合の対応 2 必ず接種の機会があること、接種時の持ち物 3 接種後の感染防止対策
生活情報誌 (フリーペーパー)	4月25日発行	・安心して受けていただくために (接種までの流れ、副反応の症状、注意が必要な方)

新型コロナウイルス  
ワクチン接種のお知らせ

接種は無料

Mother's like  
道徳賞

読書王

---

**ワクチン接種の副反応**

① 接種直後、2日以内で強く発症する  
注射した部位の腫れや痛み

② 接種後、1日以内に発症する  
※ 筋肉痛、関節痛  
※ 頭痛  
※ けいれん、嘔吐、発熱

※ 接種後、発熱が2日以上続く場合は、医師に相談してください

---

**ワクチン接種の副反応**

これらの症状が起っても数日以内に回復します  
しばらく様子を見てください

※ 発熱・痛みがひどい  
※ 接種の副作用を心配して接種しなさい  
※ 接種後は、主治医の指示に従ってください

---

**※ 道内最新型新型コロナウイルスワクチン専門相談窓口**

副反応に関する相談  
接種後発症を予防するために  
ご相談ください！

TEL  
0500-13600  
**077-528-3588**  
18:00~9:00  
**077-528-3621**

FAX 077-528-4867